

新任・転任者研修 「点字の基本」

2021. 4. 15 自立活動部

1 歴史

1819 年：シャルル・バルビエとド・ラ・セールが、アルファベットを 12 の点の配列で表す軍用の「夜の文字」を考案。

1825 年：フランスのルイ・ブライユが 6 点式点字を開発。

1890 年：ブライユの 6 点式点字を元に、石川倉次の考案した日本語の 6 点式点字が、東京盲啞学校で採用される。

2 点字という文字の特徴

①書くときと読むときで左右反転

通常は書くことから覚えるので、読むときに鏡文字になりやすい。

②母音と子音の組み合わせ

ヤ行とワ行を除いて規則性がある。

③文字の変化は前置する

濁音・半濁音・拗音・数字・英語などは先に符号で表す。

④文字は 1 種類だけ

強調や網掛けなどの文字飾りはなく、フォントや大きさを変えることができない

⑤漢字や絵文字は基本的にない

⑥絵・図・写真はそのままと伝わらない

3 書き表し方の特徴

①助詞の「……は」、「……へ」の書き方は「……ワ」、「……エ」となる。

②「う」で伸びるものは「一」で表す。

③カタカナはそのまま表す。

④数字は数が変わる可能性があるものは数字で、そうでないものはカナで書く。

⑤日付や一部の数字は読みの通りに書く。(9つ→ココノツ)

⑥分かち書き：すべてカナ文字なので、意味の塊で区切る。

例：10 日と 24 日の金曜日は六つ子がやってきます。」

「僕は今日支援学校へ大掃除に行った。」

「三上先生はボウリング場で 4 回ガーターを出した。」

4 点字を触ってみよう

小学部 1 年生の国語と算数の教科書は触察の訓練用に作られている。

算数は直線や曲線をたどる、国語は点の切れ目や変化を見つける。